

会 議 録

1 会議名	平成20年度 第5回河内自治会議
2 開催日時	平成20年12月16日(火) 午後2時00分～午後4時20分
3 開催場所	河内総合福祉センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 須藤貢(副会長) 青木正子, 上山茂, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 須藤誠一, 五月女勝正, 五月女純, 手塚米子, 永見幹夫, 西岡隆義, 日向トモエ, 松谷悦広, 森本喜美子, 山下景二</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, ほか4名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	【傍聴者】 なし
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 協議事項 ・まちづくりに関する施策の提案について (3) その他 (4) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>ただいまから平成20年度第5回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。本日は、3人が欠席のため、出席は17人となっております。委員数の過半数に達していますことから、会議が成立することを報告します。</p> <p>それではこの後は、会長にごあいさつをいただき、その後、議題に沿って進行をお願いいたします。</p>
会 長	<p>みなさん、こんにちは。本当に久しぶりとなりますが、施策の提案を自治会議の皆さんの総意としてまとめていきたいと思っておりますので、積極的な発言をよろしくお願いいたします。私は皆さんとお会いするのは7月15日以来となりますが、皆さんは9月から11月にかけて、非常に積極的、精力的に部会を開いていただき、その成果として今回の提案の原型が出てきました。今日は、自治会議としてどの項目を提案していくかということについて決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

2 協議事項

(1) まちづくりに関する施策の提案について

会 長	それでは、早速ですが、資料について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>11月20日に開催された委員全員によるまちづくり検討部会の中で、各部長からご報告がありましたが、この資料1は、そのときの資料を基にして、事務局で背景、課題、提案という統一した形に変えたものとなります。内容は基本的に変えておりませんし、提案のありました両部長さんにも確認を取らせていただきました。</p> <p>また、生活環境検討部会でも地域の課題についてさまざまな検討をされましたが、範囲が非常に広いということから、今回までには提案するテーマの絞込みに至らず、来年度以降も引き続き検討していくこととしたということで、先日の部会で報告がありました。</p> <p>そこで、スポーツ・教育・文化検討部会と自然・農業検討部会から提案したいテーマについて、この後に各部長さんからお話いただきたいと思います。そして、それを受けて、委員の皆さんが河内自治会議全体として提案をまとめていただくような検討をお願いいたします。</p>
会 長	それでは、今回は2つの部会から提案の原案が提出されたということですので、最初にスポーツ・教育・文化検討部会の部長さんに提案についての説明をお願いします。
委 員	<p>それでは、スポーツ・教育・文化検討部会から説明します。この部会は、スポーツ、教育、文化という3つのテーマについて課題などについて検討してきました。それでは、順次資料を読み上げます。</p> <p>(資料1のうち、「スポーツ施設について」、「教育について」、「文化について」の部分の説明)</p>
会 長	ありがとうございました。それでは、次に自然・農業検討部会の部長さんに提案についての説明をお願いします。
委 員	<p>自然・農業検討部会では、商業や工業分野も含めて検討することを考えていましたが、実際にはこれらについては1回しか議論できず、内容を十分に検討したと言いきれないことから、今回は自然と農業についてのみ提案することとしました。</p> <p>(資料1のうち、「農業について」、「自然について」の部分の説明)</p>
会 長	ありがとうございました。ただ今2つの部会から検討結果を説明していただきました。

	<p>それでは、これから自治会議としてどのような提案をしていくか、皆さんと議論をしていきたいと思いますが、その前に、議論をしていく際の注意点などについて事務局の考えを聞きたいと思いますので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、この後の議論についての事務局の考えを説明いたします。</p> <p>これから提案について議論を進めていただきますが、今回の意見を基に次回の会議までに提案書の案を事務局で作成いたします。今回は提案書の案の修正作業となり、大きな流れを作りあげていただくのは今回の会議となりますので、具体的なお意見を出していただきたいと思います。そして、提案書の案を作成するためには、どの提案を取り上げるのか、その施策がなぜ必要なのか、あるとどうなるのかなど、その背景や効果などの提案書に盛り込む言葉が必要となりますので、積極的にご意見をいただくようお願いします。</p> <p>資料にある提案は、皆さまが議論されて出されたご意見ですので、なかなか他の方のご意見に対して否定的な意見を出すことは難しいと思いますので、この提案は賛同できるというように様々なご意見を出していただき、委員全員の意見として作りあげていただきたいと考えています。</p> <p>また、生活環境部会のように、もっと議論する時間が必要なので、継続審議するという考えもあります。今回は10個の提案が出されましたが、すべての項目について本当に議論し尽くされているのかどうかについても考えていただき、ほとんどの地域住民が同様の意見を持つと思えるようなものを提案に取り上げ、それ以外については、今後も引き続き検討していくことも考えられますので、そのようなことにもご注意いただき、議論を進めていただきたいと考えています。</p>
会 長	<p>これから皆さんに意思表示をしていただき、自治会議の総意として提案を確認したり、修正したりしながら進めていきたいと思います。</p> <p>また、ほとんどの地域住民ということは、河内地区だけでなく全市のことも念頭に置きながら考えることが大切で、河内地区だけが良ければよいということではなく、他の地区にも同じことをしなければならなくなることを考えると、宇都宮市の中の河内地区の地域住民というバランスを念頭に置きながら議論をしていただきたいと思います。</p> <p>それでは、提案のテーマごとに大きく分けて自由に意見をいただきたいと思いますので、最初にスポーツ施設についての2つの提案についてご意見をいただきたいと思います。</p>
委 員	<p>この中では、トレーニングジムなどの施設の充実が出ていますが、やはり高齢者の医療費の削減のための予防医療という点からも有効な手段だと思えます。私は長野県のある村の取り組みについてテレビで見ましたが、トレーニングジムを充実させて、高齢者に週に1、2回利用していただいたところ、医療費が相当削減されたということでした。それは、施設にかかる一時的な経費が1年や2年で回収できてしまうほどであったということです。</p>

	<p>この地域には3万5千人以上の人口がありますので、もう少しこのような施設を充実させて、たまに利用するのではなく、いつでも利用できるようにできれば良いと以前から思っていましたので、ぜひこの部分については提案の重要なポイントにして出していただきたいと思えます。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。大いに賛成だというご意見でしたが、他にいかがですか。</p>
委 員	<p>昨今はスポーツが上手な子どもが県外へ出て行ってしまいう現状があります。それは、宇都宮はスポーツが盛んであるというPR不足もともかく、実態としてもスポーツをする環境が少なくなってきた、外の方が充実してきているということによると思えます。</p> <p>以前も今も宇都宮や河内から非常に良い選手が生まれていますが、その上手な子が外に出て行ってしまいうことは問題だと思えますので、施設の充実やスポーツ少年団の育成をもっと進めるべきだと思えます。</p>
委 員	<p>施設の充実については賛同します。私の長男は幼稚園の頃から大学を終わるまで水泳を続けていましたので、スポーツにとっても熱心です。社会人になった今でもほとんど毎日スポーツジムに通っていますが、近くにありませんので駅東まで通っています。それは、最近のメタボ予防や健康志向などがあって、自分から運動しているようですが、実は、利用料金が毎月8千円くらいはかかっているそうなので、近いところに充実した施設があって、できれば利用料金が高くなければ、もっと良いと思っています。身近に充実した施設があれば健康増進にもつながると思えます。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。ただ今の委員から賛同のご意見として、利用料についてのご意見もありました。</p> <p>無料化というお話もありましたが、宇都宮市には様々な運動施設があり、これまでに様々な議論があって受益者負担を求めることとした経緯もあります。負担軽減ということは、すばらしい考えだと思えますが、宇都宮市全部のスポーツ施設を無料にすると、やはり市の財政や予算に関わってくる面もありますので難しいこともあるかと思えます。</p> <p>しかし、スポーツのまちを進めたいということで、このことを盛り込みたいというご意見でした。</p>
委 員	<p>栃木県のすべての自治体の状況を正確に把握しているわけではありませんが、栃木県のジュニアの監督をしている関係で情報が入ってくるのですが、スポーツ少年団に対して減免していないのは、栃木県の中でもおそらく宇都宮市だけだと思えます。どこの市町村も子どもたちのスポーツ離れを防ぎ、どんどん運動してもらうために減免措置を取っています。確かに宇都宮市としてはスポーツ少年団も減免しないと決めていますので、無料化は難しいと思えますが、</p>

	<p>そうであれば利用料に対して何らかの補助などでカバーしてあげられないかなと思います。</p> <p>施設使用料は、スポーツ少年団でも中学校の部活でも親の負担が非常に大きいのです。スポーツ少年団は年会費を集めていますが、施設の利用料は、道具や消耗品にかかる費用と同額程度かかっている状況です。私が関係しているチームでは年間に80万円くらいの予算ですが、そのうちの半分は使用料になっていて、非常に大きな負担になっています。次の世代を担っていく子どもたちを育てるためには、この負担を少しでも軽減してあげるべきだと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。県内の他の状況に比べて宇都宮市のスポーツ少年団は負担がかかるということなので、何とか軽減措置ができないかということでした。合併で人口50万人の市になりましたので、町のときよりも対象人数が多くなっていますが、その分の財源を措置すべきだということですね。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>私は、提案1と提案2は一緒のこのような気がします。スポーツ少年団に入っている子の親たちからは、今まで無料で借りられた施設が宇都宮市になったら全部有料になってしまって、とても大変だという声をよく聞きます。子どもを育てる上でも、子どもにスポーツをさせる上でも、有料化という問題は考えていかなければいけません。また、高齢者のトレーニングジムも考えなければなりません、そこで多額の料金を取っては折角の施設が利用されないということになってしまうと思います。</p> <p>旧河内町のときは無料で利用できる施設が大半であって、町民を思った施策をしていただいていたと思います。ただ、宇都宮市に合併してからは、何をすることもお金が求められるという話をよく聞きます。福祉センターも高齢者から利用料金を取るようになってしまいましたし、入浴が無料であったのが100円取られるようになったので、毎日来られないという人がいて、利用者数もものすごく減ったと聞いています。これからは高齢化と少子化が進むということですので、施設の利用を進めるような方策が必要だと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次のテーマの教育についてはいかがでしょうか。</p> <p>私の方からは事情がよく分からないので一つ疑問があります。提案5は地域のPTAや学校の連携が合併によりなくなってしまったということで、これを復活させるということはすばらしいと思うのですが、これは市に提案することなのでしょうか。別に何の縛りも無いのであれば、ご自分達で進めていただくということではできないのでしょうか。</p>
委 員	<p>この中には出ていないのですが、子どもたちが自然に触れる機会が少なくなっています。自然の中で過ごす体験をすると、命の大切さとか自然に身につくことが多いと思います。以前は臨海学校というものがありました、</p>

	<p>事故が不安なので学校が敬遠するようになって、このような行事が少なくなっていました。私はグラウンドワークで田んぼの学校などに参加しているのですが、河内地区以外の小学生が参加してきていて地元の子どもたちが少ないのですが、ここに参加する子どもたちを見ていると、とてもしっかりしていて、問題を起こすことは無いだろうと思います。私は、自然は最大の教師だと思っていますが、そのような機会をもっと作ってあげれば良いと思います。</p> <p>また、栃木県では茨城県内に海浜自然の家を作ったのですが、海岸は危険で泳げないのでプールや体育館、グラウンドを作っています。折角、海岸に作っても海に入れないのでは何のための施設なのかと思い、がっかりして帰ってきました。最初の海の体験をさせてあげたいという発想はよかったですのですが、それがこのような施設になってしまい残念です。もっと旨く利用できないかということも含めて、自然に親しむ機会を増やしてもらいたいと思います。</p>
会 長	<p>今回の提案に付け加えてということですね。これは、地域の特性を生かした活動ということで、提案3の中に含むことができそうですね。</p>
委 員	<p>学校が土曜日に休みとなったことがきっかけで、私の自治会で月に1回、土曜塾を始めましたが、毎回何人もの子供たちが集まり、お年寄りや地域の方との交流を深めています。それを開くにあたって、費用もかかるので支援していただくとありがたいですし、金銭的な面だけでなく、講師の情報などをまとめるなどの支援をしていただくと便利になって、地域の子供も大人もお年寄りも皆さんが一緒になって地域の活動をしていけると良いと思います。また、生涯学習センターなどでも、いろいろな子供たちのイベントがありますが、そこへ出てこられない方も、すぐ近くでやっていたら気軽に参加できると思います。そして、その中で大人たちが集まって育成会としてキャンプに行くことなども考えられると思います。</p>
委 員	<p>私も提案3に賛成です。世代間の交流で心を育てるという意味で、親も子供も高齢者にもすごく良いことなので、ぜひお願いしたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。提案3については皆さんから賛成意見が多いようですね。</p> <p>提案4の関係ですが、新聞報道では宇都宮市や全国的な傾向として、ALTを従来の国の関係機関の派遣から、民間企業に派遣してもらうように変えてコストを低く抑えるようにするケースが増えているようです。今回の提案もコストを抑えて人数を増やすということになるのでしょうか。</p>
委 員	<p>旧河内町でも外務省や総務省からのALTを受け入れていました。トレーニングをして試験を受けてきた方ですので、そういう面では安心なのですが、受け入れる自治体では住居や家財道具を用意してあげるほか、帰国費用も負担する必要がありますし、授業が無い夏休みでも給料を払わなければなりません</p>

した。旧町の緊縮財政の中では、なかなか人数を増やすことができませんでしたが、今のような民間業者の派遣で今までの1人分の費用で2人雇えたので、旧河内町では、小学校6校に1人、中学校3校に1人のALTを確保することができました。宇都宮市では1年に1回か2回しか来てもらえないところもあるようですが、小学校の総合の時間でも英語の活動を取り入れるという動きもありますので、子供たちが英語にもっと触れ合える機会を増やしてほしいと思います。

もう一つの海外派遣については、子供たちは先輩が行った話を聞きながら、とても期待していて、自分の英語がどのくらい通じるのだろうかという夢を持っていました。旧町の時には3校で18人が10日間オーストラリアに行っていました。宇都宮市でもいくつかの姉妹都市で行っていますが、現実には補助金もありませんし、希望しなさいと話しても一歩引いてしまったのか、残念ながら河内地区からの応募者はゼロでした。それはやる気が無いからとか家庭の理解が無いからとかいう意見もあると思いますが、子供の時期にそのような機会を増やすことが必要ではないかと思います。国際理解を深めるとともに、子供たちに夢を持たせるということで、このことについて部会で提案をしました。

ALTを受託する企業でも研修をして技能レベルを保つなど、次年度に代えられないように努力していますし、また、毎年人が変わると学校とのつながりもなくなってしまいうという問題もありますので、ALTを確保するのは大変なことです。いろいろな課題がありますが、少なくともALTと触れ合う機会が与えられないといけないと思います。旧町の時には英語活動が盛んであったということで、県から視察に来たり、小学生が英語劇をやったりして、非常に盛り上がっていましたのですが、現在は他のこともいろいろあるので英語には力を入れていないと聞き、子供たちが夢を失いかけているように思います。

会 長

確かに、今までは小規模な地方政府であったものが、合併によって一つの地区になりましたが、その中でいろいろな事業のすり合わせが行われて新しい市となったものです。宇都宮市全域というより、河内はこうだというご意見でしたが、それを市の全体を見る市長に提案するということですので、そこにジレンマがあります。これも皆さん次第となりますが、極力河内をとという提案もありますが、そうすると合併は何だったのかという難しい議論も出てくるかとも思います。他にいかがでしょうか。

委 員

私の子供が学校に行っていたときには、ALTというと英語圏の方たちだったと記憶しています。子供たちの国際理解を進めていくには、英語圏だけでなく中国や他のアジア圏も重要な理解の対象になると思います。私のビジネスでは、最近では欧米よりも中国との付き合いが非常に多くなってきていますので、今後のことも考えると中国との付き合いを子供たちに教育していくことも重要な視点になると思います。そのようなグローバルな観点を持って、欧米だけでなく、アジアとの接点についても今後の展開のテーマとしてあげていければよいのではないかと思います。

委員	<p>提案5ですが、以前私が自治会長をしていたときのことで、子供たちの登下校の安全が確保できないという不安が持ち上がったことから、安全マップができたので、地域の方たちにも危険箇所を見てほしいと突然言われました。子供がいてPTAに入っていれば事前に分かったことなのですが、突然のことに戸惑ったことがありました。地域の子供を地域ぐるみで守り育てるのは、学校の先生とPTAだけではできないと思いますので、地域の人を巻き込んだ活動ができればよいと思っています。提案3にもいろいろな人との交流ということが書かれていますが、これも同じ意味があると思いますので、子どもの安全を確保するということが必要だと思います。</p>
委員	<p>提案5について確認したいのですが、PTAと教職員のつながりは、旧町の時にはPTA連合会というものがあつたのですが、今の河内地区にはそのような組織が無くなってしまって、何かの相談のときにどこへ相談してよいか分からなくなってしまっているのが現状だと思います。しかし、旧宇都宮市の各地区でもこのような組織が無いのか、それとも合併したての河内と上河内だけが無いのかを実態をお聞きした方がよいと思います。もし、旧市の中では、このようなものが組織されているとすると、これを市長へ提案すると河内地区として恥ずかしいことになってしまいますので、このことについて把握した上での提案にしてはどうかと思います。</p>
会長	<p>このようなご意見のやりとりも重要なのですが、他の提案もありますので、本日はご意見を出していただく時間にしたいと思いますのでご了解ください。</p> <p>それでは、テーマを「文化について」に移らせていただきますが、いかがでしょうか。広報紙などについては、市でも作り手について模索していて、住民参加のような傾向にあると感じています。</p>
委員	<p>提案8についてですが、まちづくり部会としてまちづくり組織についての勉強会をしたときにも広報紙の重要性を認識したところですが、また、その後のまちづくり部会としての話し合いの中では、まちづくり部会として提案することは今後の検討を踏まえてということにしたかと思います。</p> <p>また、広報紙については、他の部会でも出てきていますので、このことについては、スポーツ・教育・文化部会からでなく、まちづくり部会からの提案に移してはどうかと思っています。</p>
会長	<p>提案は、自治会議として提案しますので、まったく問題ないと思います。</p> <p>提案7はいかがでしょう。展示場ということですが、これはハコモノということではなくて、どこかの一角にということですね。</p>
委員	<p>展示場のことで、先日の地区の文化祭では文化財の展示をさせていただきました。そのときに市の文化課に文化財の展示をしたいとお話ししたところ、快く受けていただき、また、向こうからもぜひお願いしたいというお話しがあ</p>

	<p>りました。文化課でも地域の文化財は地域に出したいという意向もあるようですので、そのようなものも踏まえて、建物を作ることは大変でしょうから、生涯学習センターなどを改装するときにも、展示スペースを設けてはどうかと思います。</p>
会 長	<p>それでは、次の農業についてはいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>農産物の直売所については、いろいろな作り方がありますが、一つは市で施設を作って運営を生産者に任せるといったものと、農協が施設を作って生産者が販売を担当するというものがあります。農家が厳しい生活の中で、生産者自身が施設を作ることは厳しい。私は、国などの補助を受けて市で施設を作っただけ、運営は地元に残していただくというスタイルが良いのではないかと思います。</p>
会 長	<p>宇都宮市内には他にも農業が盛んな地区がありますが、全地区とはいいませんが、河内だけでなく他の地区にも市で作っていくということでしょうか。</p>
委 員	<p>全市を見るとかなりの直売所が既にできていて、河内地区では駅前の農協で販売所を開いています。しかし、これらは規模が小さくて一部の方しか参加していませんし、買いに来る方もあまり多くないので、このような形では、あまり意味がないと思います。もう少し規模を大きくして、消費者と交流できるようなスペースが必要だと思います。また、併せて加工所がセットになった施設が欲しいと考えています。この地区では、直売所があっても小規模で数も少ない。市の北部には大きな直売所があって、市の中心部からお客が集まってくるようです。市長と話していると、大きな施設を一つ作るのではなくて、地区ごとにそのような施設があってもよいのではないかと話を聞きます。ですから、この地区にはこのような施設があるとよいと思います。</p>
会 長	<p>旧河内町の時には、そのようなことができなかったということでしょうか。</p>
委 員	<p>旧河内町のときでも10ヶ年計画の中で直売所ということが出ていました。ずっと前から話は出ていても、実現できていなかったということが実情です。</p>
委 員	<p>これは、農家が儲かるということだけでなく、地域おこしをするために近隣の方たちの交流の場にできればいいと考えています。いろいろなところへ働きかけて様々なことを経験していただくことで、人づくりに活用していかないといいと思います。地域の人たちの交流の場として利用しながら、農業をアピールする場としても直売所や加工所を活用すればよいと思います。これは、単に直売所は儲かりますよということでは済まないようにしていければよいと考えています。</p>

会 長	市には、その環境づくりをしてほしいということですね。 自然についてはいかがでしょうか。
委 員	(発言なし)
会 長	<p>それでは、提案についての私の捉え方をお話ししたいと思います。先日参加した都市計画審議会でも、編入合併した河内と上河内については、宇都宮市の大きな柱としていろいろなことが明記してあります。なぜそうなっているかという、編入された地域はいろいろと大変だということもあって、いろいろなすり合わせの中で河内に対して財源的に手厚くしているからですが、それは他の地区からすると、なぜ河内と上河内ばかりという印象を持たれるほどです。</p> <p>私は宇都宮から河内にお金などが向かうベクトルがあると思っていますが、河内自治会議としては逆のベクトルで発信するべきではないかと思っています。これが足りないので市でそろえて欲しいということではなく、他の地区にも我々の提案を広げていけるような、つまり、市内の全部にとは言いませんが、河内モデルが広がっていくような提案であるべきと思っています。我々から市にこれをして欲しいということよりは、我々から提案したのに対して、お金も物も河内だけに来るというものでなく、全市に広げるような提案と考えています。要望するようなことは、合併したときにすり合わせが済んでいることになってしまいますので、これからは、我々が宇都宮市全域を見渡してどういうことを提案するかということになると思います。</p> <p>河内の子供たちの海外派遣も重要だと思いますし、従来あったことが合併によって少なくなったという負の部分もあるということも分かっているつもりです。ただ、他の地区の子供たちも海外に行きたい訳ですから、それを宇都宮市の財源で負担しようとなると、実効性とかいろいろな点を考えたときに難しいのではないのでしょうか。子供たちの海外経験が大切だから海外に行く、それを補助してお金が出ますが、それを市の90校全部の子供たちにチャンスを与えるということは、今の状況では財政の面が難しいと思います。決して否定するものではありませんが、そのあたりのことも提案をするときには考えていきたいと思っています。宇都宮市に何かしてくださいというより、これを宇都宮市の各地区に広げていこうということです。</p> <p>もちろん「スポーツのまち河内」ということで魅力づくりに特化するのであれば、他の地区がうらやむように充実させていって、そこに他の地区から来て河内の良いところを見ていってもらい、めぐり巡って全市がよくなるということも考えられます。しかし、河内と上河内を含めた合併協議の中で整理され、合併の経過から出た産物でもありますので、今回は合併した次の次元での提言としてまとめたいと私は考えています。</p>
委 員	体育協会や育成会協議会などは、すべて宇都宮に本部があって河内は地区支部ということになっていますが、文化協会は、市に一つの協会があるのみで地区の支部がありません。合併のときに河内町文化協会は無くなりますというこ

とになったのですが、町の協会の人たちは、どうしても残したいという気持ちから河内地区単独で、どこにもお世話にならないような形で文化協会を立ち上げました。市の文化協会とは会員が双方に加入するというつながりだけで独立した活動をしています。

宇都宮の各地区には地区の文化協会が無く、生涯学習センターの利用者会はあるのですが文化祭を開催するだけです。河内と上河内にあるような地区の文化協会を他にも立ち上げていければ、宇都宮の文化を発展させることができるのではないかと思います。先日清原地区に伺ったときに清原の代表の方から河内地区の文化協会のようなものを作りたいというお話もありました。

会 長

文化協会のように河内の良いところを将来的には他の地区にも取り入れてもらう、行政は入らずとも地区の間でコミュニケーションを取りながら各地区に広げられれば、それが理想だということですね。河内地区のモデルを宇都宮市全域に広げていくための協議の場とか、その調整を市にお願いするとかの提案をすれば、宇都宮市として河内地区のやり方を学ぶ機会をもって、他の地区にも広げていくことができるのではないかと思います。

ありがとうございました。それでは、ここで一旦休憩を取らせていただきます。

(休 憩)

会 長

それでは会議を再開します。

今日の会議で提案の中身が決まるものではありません。一定の方向性を決めて、次回までに具体的な案を作りますので、それを次回の自治会議で審議していただくこととなります。

先ほどは、貴重なご意見をありがとうございました。ご意見が出なかったものを今後の継続審議していき、複数の方からご意見いただいたものを次回の提案に取り上げるというように、大きく2つに分けて整理させていただきたいと思います。ですから、決してこの提案がだめだということではありません。具体的な提案としていくときに休憩前の方のご意見を参考にして方向性を示していきたいと考えています。

最初から見ていただきたいのですが、スポーツ施設については、提案1と提案2を一つの提案にしていきたいと思います。

次の教育についてですが、提案3は包括的なことを含みますので項目として取り上げたいと思います。また、提案4はアジアを含めて広く世界各地を視野に入れた国際化時代の担い手とした子供の育成などのご意見を取り入れて取り上げたいと思います。提案5と6も重要な指摘だと思いますが、もう少し議論していただきたいと思います。

次の文化については、提案7はハコモノでなくスペースということで地域固有の文化財を展示してはどうか、また、ある意味では河内地区に最初の取り掛かりを設けて将来は他地区に広げるというような提案としていきたいと思いま

す。また、提案8も重要なのですが、現在市では住民参加で進めていくという方向を模索しているようですので、継続して議論していただきたいと思います。

農業についての提案9は、将来的には他地区にもということで、特に河内の資源の活用について市に対して支援をお願いすることですが、単に要望でなく、将来的にはこのような魅力あるものとして、他の地区にも河内のモデルをというように提案を考えたいと思います。

自然についての提案10は今回ご意見がいただけなかったようでしたので、今後も継続して議論していただきたいと思います。

繰り返しますと、提案1と2を一緒にして、提案3と4を個々に取り上げ、提案5と6は継続審議、提案7も提案として取り上げ、提案8は継続審議、提案9を取り上げ、提案10は継続審議するというにしたいと思います。

提案はいくつあってもよいという考えもありますが、将来的には宇都宮市のモデル地区になっていくことを踏まえたうえでの提案ということで、事務局の方のアドバイスを基に私の判断で今のような整理をさせていただきました。これについては、次回に提案を作っていくしたいと思います。

委員

ただ今会長から、次回に向けての取り組み方をお話いただきましたが、基本的にはこれで賛成したいと思います。

先ほどの提案4でアジアを視野に入れてというご意見がありましたが、そのとおりでと思います。ご存知の方も多いと思いますが、ALTは以前AETと言っていて、これはアシスタント・イングリッシュ・ティーチャーということで英語圏の先生のことでした。それを英語圏以外の国際理解を進めていくという発想から、ALT、アシスタント・ランゲージ・ティーチャーということで、言語という言葉に変えています。最初は英語圏のみから始まったものが、他の言語も必要だということに変わってきましたが、現実的には外国語教育の中ではなかなかできませんので、その他の活動として英語以外を扱うということにしているようです。

この提案は、河内地区にだけALTや海外派遣を増やして欲しいということではありません。予算の問題もあるでしょうが、そういうものを少しでも全地区に広げていただきたいと思います。そうすれば子供たちもがんばることができるのではないかと思います。

委員

提案5については継続して議論してはどうかということでしたが、血の通った話し合いや交流で子供たちを育てるという意味で大切な部分を含んでいると思いますので、提案3の中に盛り込める部分があれば、そこに加えてはどうかと思います。これは、PTAと教職員も加わることが必要ですが、市と教育委員会が連携を取って進めていただきたいと思います。先生方も地域の危険な場所などが分かれば、子供たちに対する対処のし方も違ってくると思います。地域住民、教職員のみinnで子供を守っていくなどを盛り込んでいければよいと思います。

会 長	<p>ありがとうございました。ただ今の意見を基に提案の案を事務局に作っていただいて、次回の会議で議論していきたいと思います。</p> <p>次回の提案書の案について事務局から説明することはありますか。</p>
事務局	<p>先ほども会長から今回の提案の趣旨やまとめ方についてお話しいただきましたので、改めて申し上げることはありませんが、自治会議は市の附属機関であるという性格から、市の施策に対して一方的に要望するというものではなく、市政運営に対してアドバイスをするとか検討していただくものとかの意見を述べるというスタンスでのまとめ方になると考えています。ですから、河内地区に対してこうしてほしいとか、合併前はこうだったのに無くなってしまったので戻してほしいとかいう表現は避けて、全市的な立場に立って、共通することや発展していくことを河内から発信するような形の表現にさせていただきたいと思っていますので、このような視点で提案の案を作成いたしますので、次回の会議でご意見をいただきたいと思います。</p>
会 長	<p>それは、河内に特化したものを提案することはけしからんということではなくて、河内に特化したものを提案しても、それが将来的に見れば他の地区に広がっていくモデルになれるということがあれば、今回は河内だけにこれをしてほしいということも言えると思います。私の理解ではスポーツ施設のことや直売所については、このようなものと受け止めています。</p>
委 員	<p>先ほどから会長がおっしゃられている河内からの発信ということですが、河内の水をきれいにして、それを発信するというで、旧町のときに手作り石けんの作業所ができたので、そういう意味では私たちの活動は発信することに合っているのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
会 長	<p>提案10のことですね。</p>
委 員	<p>今まで10何年も町に石けんを買っていただきましたが、そのような施設があるということを皆さんに知っていただきたいと思っていますので、発信するにはよいと思います。</p>
会 長	<p>提案の案に取り上げてほしいということですね。先ほどはご意見がありませんでしたので、このようにさせていただいたのですが、皆さんのご意見はいかがでしょう。</p>
委 員	<p>私も提案10に賛成です。大気汚染の面から見るとディーゼル燃料化ということもよいと思いますが、地球内部を浄化するという面ではこの石けんの方がよいと思いますので、両方あればもっとよいと思います。</p>

会 長	<p>それでは、この項目も加えさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>先ほど提案書の案を事務局で作成していただくとお話しましたが、附属機関の提案をまとめるにあたって一定の書き方もあるようですので、私も事務局と一緒に文章を調整して次回の会議にお示ししたいと思います。</p>
-----	--

4 その他

会 長	<p>それでは、その他になりますが、最初に事務局から情報提供があるようので説明をお願いします。</p>
事務局	<p>合併に伴う旧町境2か所の通学区域について、通学区域審議会において見直しの検討があり、その結果が答申されましたので委員の皆さんにお知らせします。</p> <p>(その他1 参考資料 通学区域審議会の答申について説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それでは、他に委員の皆さんから連絡事項などありますか。</p>
委 員	<p>(発言なし)</p>
会 長	<p>それでは、事務局から連絡事項はありますか。</p>
事務局	<p>次回の自治会議は、2月6日の午後2時から河内地域自治センターで開催しますので、よろしくをお願いします。</p>
会 長	<p>それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。次回の提案の方向性について皆さんに納得していただいたということで、ありがとうございました。また、本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。9月から皆さんが積み重ねてきた熱い議論に私は圧倒される気がしました。皆さん、本日は、お疲れさまでした。</p>